

女性未来育成センター かわら版

第6号

平成27年1月20日発行

発行:愛媛大学ダイバーシティ推進本部女性未来育成センター

http://hime.adm.ehime-u.ac.jp

TEL/FAX 089-927-8602 E-mail hime@stu.ehime-u.ac.jp

大学や地域と連携して取り組みます。【法文学部総合政策学科教授 土屋由香(大学連携WGリーダー)】



昨年10月末、徳島大学(代表機関)、香川大学、愛媛大学、高知大学(以上共同実施機関)、鳴門教育大学(連携機関)の四国5大学連携による「女性研究者研究活動支援事業」が、科学技術振興機構(JST)によって採択されました。5大学および連携企業から成るコンソーシアムの下に、女性研究者の管理職・上位職への登用拡大、女性研究者を代表とする共同研究プロジェクトの支援、シンポジウムや交流会などの啓発活動をすでに開始しています。

また12月には、5大学長会議の決定にもとづいて各大学が「女性研究者の管理職登用行動計画」を策定し、5大学の共通課題として、事業終了時(平成29年3月まで)に女性管理職2人以上という数値目標が掲げられました。さらに、教授等の上位職に就く女性が特に工学系において少ないため、工学系分野における上位職を事業終了年度までに2人以上登用することを目指します。このほか女性研究者の研究力向上、女性研究者の採用者数・在籍者数の増加、離職率の減少、復職支援など、さまざまなエンパワーメントの取組を、5大学の連携の下に実施していきます。

四国5大学連携による四国女性研究者活躍推進事業がスタート!

愛媛大学、香川大学、徳島大学、高知大学、鳴門教育大学の5大学は、平成23年2月「四国内国立5大学長による男女共同参画推進共同宣言」を発表し、連携を取りながら、女性教員の増員に取り組んできましたが、平成26年11月からは、さらに四国地区の連携を強化して取り組んでいます。

連携機関全体の連携体制



女性研究者の産学官交流による活性化効果的なキャリアパス拡大

愛媛大学の新たな数値目標

(平成29年3月31日まで)

女性研究者在職比率 18.2%以上
女性研究者採用比率 24.1%以上
管理職登用率 1.9%以上
科学研究費補助金採択率
「新規+継続」50% 「新規」30%

研究力向上に向けた取組

1. 共同研究プロジェクト支援
2. 研究支援員の配置
3. 研究倫理啓発セミナー
4. 研究力伸張セミナー
5. キャリア教育セミナー、キャリアパス支援

連携による取組の啓発

1. 連携シンポジウムの開催
2. 四国内国立5大学ポータルサイトの開設
3. ロールモデル集「Women&Men 四国」制作
4. 研究中断からの復帰支援
5. 連携メンター制度の運用
6. 介護支援セミナー
7. 連携事業一時保育支援実施
8. 非常勤講師の相互派遣

女性研究者上位職登用に向けた取組

- ★女性教員増員の新たな数値目標設定
- ★女性研究者の上位職へのプロモーションプラン策定

平成26年度 愛媛大学での「連携型」による主な取組

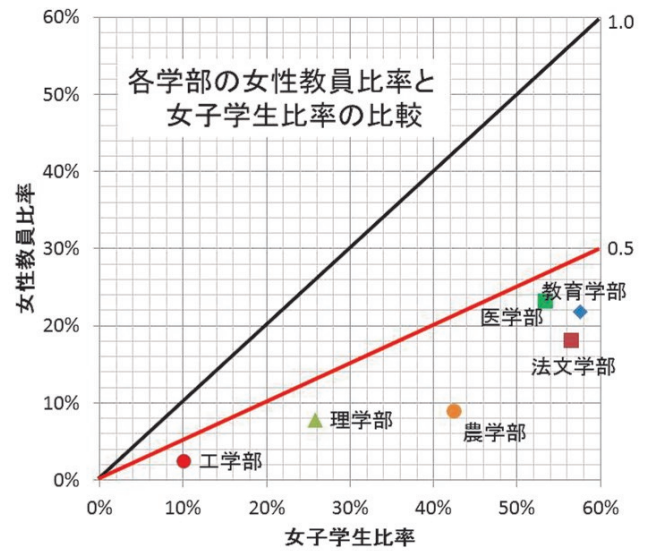
- ・共同研究プロジェクト支援(女性研究者が代表となる四国内での共同研究の支援)
- ・四国地区女性研究者研究活動発表会への派遣(3/10-11, 徳島で開催予定)
- ・女性研究者エンパワーメント講座(2/6, 2/17, 3月予定)
- ・ロールモデル集「Women & Men in 四国」の発行(3月予定)

数字でダイバーシティ☆⑥ 教員と学生の女性比率

右のグラフは、各学部の平成26年度の女性教員比率と女子学生比率の関係を表したものです。いずれも女子学生比率と比較して、女性教員比率はその半分以下となっています。

女子学生への対応には、女性教員があたることも必要です。教育の観点からも女性教員の増員が望まれます。

	女性教員比率	女子学生比率	女性教員比率 / 女子学生比率
法文学部	18.1%	56.5%	0.32
教育学部	21.9%	57.6%	0.38
理学部	7.8%	25.8%	0.30
医学部	23.2%	53.4%	0.43
工学部	2.4%	10.1%	0.24
農学部	9.0%	42.4%	0.21



地域では、えひめ女性活躍推進協議会が発足！企業も女性活躍推進加速化

12月9日、女性未来育成センター公開シンポジウムにてパネルディスカッション「女性の活躍で地域が変わる」を開催しました。パネラーの一人伊予銀行人事部長兼女性活躍推進室長の松浦祐一さんは、女性活躍推進をオール愛媛で進める「えひめ女性活躍推進協議会」の会長でもあります。この会は、愛媛県法人会連合会の呼びかけによって2014年8月に発足、県内の経済団体及び推進団体の16団体が構成され、オブザーバーで愛媛労働局、愛媛県、松山市、県内金融機関も参加しています。

松浦さんは、伊予銀行の取組を紹介され、次のようにコメントされました。「人口減少社会の中、生産労働人口の大幅な減少は避けられません。推計によると愛媛県では2040年には5万人程度の労働力不足が生じるといいます。また、地方特有の問題として、都会に行った優秀な学生は地方にはなかなか帰って来ません。今までの日本の企業は基本的に男性がメインの労働力という事でやってきましたが、男性だけでは労働力が賄えず、持続的に成長するためには、これまで生かし切れなかった潜在力ある「女性の力」を最大限発揮してもらい、男性女性関係なく働くことが必要な時代となりました。女性にはビジネスの重要なスキルであるコミュニケーション能力に長けた人も多く、今後企業が競争力を強化するために優秀な女性の活躍は不可欠となっています。」県内の企業も変わります。大学も今が変革の時です。

★伊予銀行女性専門商品開発チーム「ショコラボ」(2013年～)

最初の開発商品、「365分の1積立定期預金」がヒット。

★伊予銀行女性活躍推進室(2014年8月発足)

男性2名、女性1名でスタート。さらに具体的に何をすれば女性が活躍できる環境がつかれるのか、広く意見を吸い上げようと、結婚している人、子供もいる人、管理職から平の人まで様々なバックグラウンドを持った女性7名男性3名からなる女性活躍推進プロジェクトチームを結成し、女性活躍推進のための新たな数値目標とアクションプランを作成中。

リケジョインターンシップ・大募集！

理系女性の活用に力を入れている「リケジョ応援企業」のうち、下記の7社が、独自に女子学生を対象にインターンシップを実施します。リケジョ応援企業を体験したい学生の方は、女性未来育成センターまでお問い合わせください。

- 【文系理系を問わず】株式会社あわしま堂、大王製紙株式会社、おうちTOWNセイコー不動産グループ、株式会社ビット
【理系のみ】トエビス株式会社、井関農機株式会社、株式会社アイムービック

編集後記

枝葉末説

昨年、11月に東京で開催された「女性研究者研究活動支援事業シンポジウム2014」(文部科学省主催)に行ってきました。分科会にも参加し、「働く女性の家庭と仕事の両立について」をテーマに意見交換をしました。このような場に参加することは初めての経験で緊張もありましたが、20名程度のグループで展開される熱心な意見に触れ、新しい発見や勉強になりました。そして、確実に女性も男性も尊敬し合い活躍できる、目指す理想に近づいていると実感しました。私はまだ家庭を持っていませんが、この先結婚し家庭を築くことが楽しみになりました。理想ばかり高く実現のための知識も実力も未熟な私ですが、周りの皆さんを見習い理想を現実にするために頑張ります。(MG)

女性研究者エンパワーメント講座開催！

他の女性研究者からエンパワーされませんか？

1. 活躍する女性研究者とは (2/6)

2月6日(金)15:00~17:00 愛大ミュージック会議室3F
講師: 實川節子氏(日本ロレアル株式会社リサーチ&イノベーションセンター)「女性科学者に関するロレアルの取組」
講師: 矢島知子氏(お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科准教授)

コーディネーター: 佐藤久子(愛媛大学大学院理工学研究科教授)

2. 大学での女性リーダーを考える (2/17)

2月17日(火)15:00~17:00 校友会館2Fサロン
講師: 朴木佳緒留氏(神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)

講師: 熊谷礼子氏(帝塚山大学経済学部教授・経済学部長)
コーディネーター: 土屋由香(愛媛大学法文学部教授)

第3回は、研究を続けることとワークライフバランス (平成27年度予定)

コーディネーター: 石野智子(愛媛大学大学院医学系研究科准教授)

「ひめーる」

配信中



女性未来育成センターの各種情報をメールマガジンでお届けしています。配信希望の方はこちらまで。

⇒hime@stu.ehime-u.ac.jp